

平成 30 年度 文京区障害者就労支援センター事業報告

障害者就労支援センターは地域の障害者就労支援の拠点として事業を行っております。平成 30 年度の事業実績報告を致します。

【事業概要】

1. 事業の内容

文京区在住の障害のある方への就労支援、区内企業の障害者雇用促進、障害者就労の理解啓発

2. 所在地

〒113-0033 文京区本郷 4-15-14 文京区民センター 1 階

電話 03-5805-1600 FAX03-5805-1601

メールアドレス daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

3. 種 別

東京都「区市町村障害者就労支援事業実施要領」に基づく事業

4. 活動時間

月曜日～金曜日 8:30～17:00 ※祝日・年末年始を除く

土曜開所（第 4 土曜日、変更あり）

5. 対 象

文京区在住の障害のある方、及び企業

6. 組織・職員体制

支援員 7 名（所長 1 名）、事務 2 名（ハートフル工房担当 1 名、手話担当 1 名）

※所有資格：社会福祉士 1 名、精神保健福祉士 2 名、キャリアコンサルタント 3 名、産業カウンセラー 2 名
CDA 1 名、キャリアカウンセラー 1 名、衛生管理者 1 級 1 名、教員免許 3 名、手話検定 1 級 1 名

【基本方針】

- ・障害者の自立と社会参加を基本とする障害者基本法の理念を踏まえ、文京区障害者・児計画に沿った地域での就労支援を実現します。
- ・福祉と雇用の専門性をもって、対象者の自己決定・自己実現への丁寧な支援を行います。
- ・一人ひとりの「働く」とその人の「キャリア」を大切にされた支援を行います。
- ・障害者就労に関する情報を収集し発信する地域の障害者就労の拠点となります。

【業務内容報告】

1. 就労支援

登録者数は 571 名で、新規登録者は 69 名、うち就労者数は 278 名、今年度新規就労者数は 39 名、離職者は 27 名。昨年度に引き続き、新規の登録者の多くが精神障害のある人となりました。利用登録の際に、職業ガイダンス方式に取り組み、登録時の見立ての精度とコーディネート機能の強化を行いました。

支援内容では、支援件数 7489 件（前年度比 1370 件増）の内 3213 件（前年度比 521 件増）が定着支援となっており、増え続ける定着支援に対応するための効率的な人的資源配分、企業の力を引き出す支援が求められました。

また、医療との連携において、区内医療機関のアドバイスを受けながら主治医意見書記入についての依頼状と参考例を作成し、活用しました。

2. 生活支援

生活支援の件数は 883 件（前年度比 73 件増）で、内訳は日常生活支援 493 件、不安や悩みの解消 259 件、豊かな社会生活を築く支援 113 件、将来設計相談 18 件となっています。家族の高齢化や本人の高年齢化、家族問題、生活問題等複雑なケースが増えており他機関連携で関わる機会が増えています。様々なケースを基幹相談支援センター、障害福祉課、保健サービスセンター等地域の福祉機関と連携し生活支援を行いました。

また、余暇活動の支援として、たまり場事業 11 回（毎月 1 回、会社帰りに立ち寄れる食事会）、生活講座 10 回（企業で働く主に知的障害のある方の生涯学習の機会）、就労継続を祝う会（勤続者の表彰）を企画実施しました。

3. 企業支援

企業の障害者雇用が進む中、企業支援の機会が増えています。採用から定着までの初期の就労支援、雇用管理やキャリア支援などの相談も増えており一層の専門性が問われました。

また、ハローワーク主催の雇用促進セミナー（シビックホール 大ホール、560 社参加、653 名の企業人事担当者参加）に参加協力を行い、障害者就労支援センターのブースを設置し事業の周知を行いました。

中小企業の障害者雇用促進に関しては、小島健一先生を講師に迎え、「障害者雇用は『働き方改革』の決め手になる～障害者雇用の効用について～」をテーマに就労支援講演会（スカイホール、区民又は区内の中小企業関係者等およそ 60 名）を開催しました。東京商工会議所文京支部・中小企業家同友会との連携をスタートし会員企業への就労支援や障害者雇用の周知に努めました。さらに、地域の中小企業の障害者雇用促進のため、「中小企業障害者職業体験受入れ助成事業」の周知に取り組みました。その結果、問い合わせ件数 15 件、助成利用 5 社となりました。また、東京都の中小企業障害者雇用促進応援事業（障害者就業・生活支援センター）と連携し、区内企業への企業訪問に同行し障害者雇用に関する説明を行った(7 件)。

4. 事業所ネットワーク・東京都就労支援ネットワーク

地域の就労関係機関のネットワーク作りに取り組み、障害のある人の「働く」を地域全体で支えていく地域の仕組み作りに取り組みました。区内の就労支援者の研修会 4 回、共同受注ネットワーク連絡会 3 回、ハートフル工房販売会 12 回、その他関係機関の連絡会へ参加しました。就労支援専門部会において実施することになった、支援機関職員対象の企業実習体験については、トヨタグループ株式会社との協力の下、3 回実施しました。

また、広域の就労支援ネットワークとして、東京都障害者就労支援機関連絡会 2 回、ハローワーク飯田橋就労支援連絡会 1 回、東京都区市町村障害者就労支援センター城東・城北ブロック会議 4 回、同城南ブロック 4 回、障害者就業・生活支援センター連絡会 2 回、その他に参加しました。

5. 広報活動

障害者就労支援センターを周知する計画的な広報活動として広報紙『しごとサポート』4 回発行、就労支援センターリーフレット及び職業ガイダンスのチラシを関係機関へ配布、ハートフル工房のチラシを関係機関へ配布、東京商工会議所文京支部へ中小企業向けのチラシの配布、就労支援講演会や雇用促進セミナーにおいて就労関係資料の配布を実施しました。

以 上